

薬事エキスパート研修会・特別コース
第一回「薬害教育」基礎研修講座

主 催	財団法人日本公定書協会	
後 援	日本製薬団体連合会	日本医療機器産業連合会
	日本製薬工業協会	米国研究製薬工業協会(PhRMA)
	社団法人東京医薬品工業協会	欧州製薬団体連合会(EFPIA Japan)
	大阪医薬品協会	日本 CRO 協会
	日本 OTC 医薬品協会	社団法人日本医薬品卸業連合会
	日本ジェネリック製薬協会	財団法人ヒューマンサイエンス振興財団

【研修会趣旨】

本年4月に「薬害肝炎事件の検証及び再発防止のための医薬品行政のあり方検討委員会」がまとめた薬害再発防止のための医薬品行政等の見直しについて（最終提言）において、過去の薬害事件を風化させず、教訓として再発防止につなげるための「薬害教育」の必要性がうたわれています。

製薬企業においては、予防原則に基づいた対応ができるよう、企業のトップからすべての社員に至るまで、意識を改革する必要があるため、企業に実施が求められている教育訓練の内容として、薬害教育を必須項目とすべきであると提言しています。

さらには、医師、薬剤師、歯科医師、看護師に対する生涯教育の一部としての薬害教育の必要性や、初等中等教育においても薬害を学ぶことにより、医薬品との関わり方を教育する必要性も指摘されています。

そこで、薬事エキスパート研修会の特別コースとして、戦後の薬害事件の概要や、個々の事件がどのような経緯で起こったのか、なぜ防止できなかったのか、得られた再発防止に向けた教訓は何か、薬害問題を今後の安全対策に生かすための課題は何か等について、系統的に研修する機会を設けました。製薬企業・医療機器企業関係者、医療関係者、教育関係者を初め幅広い方々のご参加をお願い申し上げます。

【日程及び場所】

日 程	場 所
平成22年12月15日(水)～17日(金)	日本薬学会 長井記念ホール 東京都渋谷区渋谷 2-12-15 Tel. 03-3406-3326

会場地図は協会ホームページ(<http://www.sjp.jp>)をご覧ください

【対象者】

製薬企業・医療機器企業の安全性業務担当者、医療関係者、教育関係者、一般の方で薬害教育に関心をお持ちの方。

【募集人員】 200名

【申込要領】

1. 申込方法及び期日

(1) 下記払込取扱票にてお申し込み下さい。

法人会員：当協会から送付する規定の払込取扱票

個人会員／非会員：ゆうちょ銀行、郵便局備えつけの払込取扱票

振込先：(財)日本公定書協会 振替口座 00190-9-97409

* 次の事項を払込取扱票の通信欄にご記入の上、受講料をご送金下さい。折り返し受講券をお送り致します。振替払込金請求書兼受領証をもって領収書に代えさせていただきます。

通信欄に必ずご記入下さい。

- (1) 会社名, 所属
- (2) 受講者名：1枚につき1氏名
- (3) 連絡先：郵便番号, 住所, 電話番号
- (4) 「薬害教育」の文字

* ゆうちょ銀行及び郵便局以外の銀行振込、現金送金をご遠慮願います。なお、受講料受領後の払い戻しは致しませんので、予めご了承下さい。

(2) 振込期限 平成22年12月1日締切

2. 受講料(消費税込)：テキスト代を含みます。

- ・日本公定書協会法人会員 1名につき35,000円

(法人会員は1口につき4名が会員扱い)

- ・個人会員／非会員 1名につき50,000円
- ・アカデミア／医療関係者／教育関係者 1名につき15,000円

なお、受講者の方は、わが国の医薬品リスクマネジメントに関連する薬事法や制度等の成り立ちの概要を理解しやすく解説した初めての日英対訳本「日本における医薬品のリスクマネジメント」を特別価格でご購入頂けます。購入方法は下記をご覧ください。

「日英対訳 日本における医薬品のリスクマネジメント」(定価12,600円)
(企画・編集:(財)日本公定書協会、英文監修:エーザイ執行役員スチュワート ギリー先生)

本研修会受講者の方は特別価格 **9,500円** でご購入頂けます。ご希望の方は下記金額を振込用紙にてお振込下さい。研修会初日、受付にてお渡し致します。

- ・日本公定書協会法人会員 44,500円(受講料35,000円+書籍9,500円)
- ・個人会員／非会員 59,500円(受講料50,000円+書籍9,500円)
- ・アカデミア／医療関係者／教育関係者 24,500円(受講料15,000円+書籍9,500円)

3. 問合先 〒150-0002 東京都渋谷区渋谷 2-12-15

財団法人 日本公定書協会

電話 03-3400-5634(代)

03-3400-5644(薬事エキスパート研修会担当)

FAX :03(3400)3158

URL: <http://www.sjp.jp>

4. 注意事項

- 法人会員にお送りした規定の払込取扱票は、会員証となりますので、必ず関係部門へお廻し下さい。
- 申込み後の受講者の変更は可能です。

薬事エキスパート研修会・特別コース
第一回「薬害教育」基礎研修講座
 (受付開始予定 9:00)

【内容及びスケジュール】

日程	時間	講義内容	講師
12月15日 (水) 9:30～17:15	9:30～9:35	開講の挨拶	寺尾 允男 (日本公定書協会会長)
	9:35～10:30	第1講：薬害肝炎事件の検証及び再発防止のための医薬品行政のあり方検討委員会最終提言について	高橋 千代美 (日本製薬団体連合会常務理事)
	10:30～11:30	第2講：薬害再発防止に対する製薬企業の取り組み	
	11:30～13:00	休 憩 (昼 食)	
	13:00～14:00	第3講：医療関係者に対して「薬害教育」を如何に行うか	堀内 龍也 (社)日本病院薬剤師会会長)
	14:00～15:00	第4講：「薬害エイズ」の教訓	花井 十伍 (ネットワーク医療と人権理事)
	15:00～15:15	休 憩	
	15:15～16:15	第5講：薬害再発防止に対する期待と課題(1)	花井 十伍 (ネットワーク医療と人権理事)
16:15～17:15	第6講：薬害再発防止に対する期待と課題(2)	水口 真寿美 (弁護士・薬害オンブズパースン会議事務局長)	
12月16日 (木) 9:30～17:15	9:30～10:00	第7講：戦後の医薬品や医療機器が関連した健康被害事件	土井 脩 (日本公定書協会理事)
	10:00～10:30	第8講：ジフテリア予防接種禍事件	田井中 克人 (京都・島根ジフテリア予防接種禍事件研究会事務局長)
	10:30～11:30	第9講：サリドマイド事件	間宮 清 (日本慢性疾患セルフマネジメント協会普及・広報委員)
	11:30～13:00	休 憩 (昼 食)	
	13:00～14:00	第10講：C型肝炎事件	泉 祐子 (薬害肝炎全国原告団)
	14:00～15:00	第11講：薬害再発防止に対する行政への期待と課題	小野 俊介 (東京大学大学院薬学系研究科医薬品評価科学准教授)
	15:00～15:15	休 憩	
15:15～16:15	第12講：ソリブジン事件	土井 脩 (日本公定書協会理事)	
16:15～17:15	第13講：医薬品副作用被害救済制度等を如何に活かすか	宮崎 生子 (独)医薬品医療機器総合機構健康被害救済部次長)	

12月17日 (金) 9:30～16:30	9:30～10:30	第14講：薬害と報道	隈本 邦彦 (江戸川大学メディアコミュニケーション学部教授)
	10:30～11:30	第15講：キノホルム事件 (スモン)	辻川 郁子 (スモンの会全国連絡協議会事務局長)
	11:30～13:00	休 憩 (昼 食)	
	13:00～14:00	第16講：薬学教育において「薬害教育」を如何に行うか	中野 泰子 (昭和大学薬学部遺伝解析薬学教室教授)
	14:00～15:15	第17講：MMRワクチン事件	上野 秀雄 (財)予防接種リサーチセンター運営委員) 栗原 敦 (独)医薬品医療機器総合機構救済業務委員会委員)
	15:15～15:30	休 憩	
	15:30～16:30	第18講：過去の薬害事件から何を学ぶか	土井 脩 (日本公定書協会理事長)

(敬称略)

*演題，講師，時間，会場等一部変更する場合がありますので，予めご了承下さい。

*最終日の午前9：00から受講証明書をお渡し致します。

【書籍案内】

「薬害教育実務テキスト—薬による健康被害を防ぐために—」

(企画・編集：(財)日本公定書協会/ 発行：株式会社 じほう) 2011年2月発刊予定